

大分市立上野ヶ丘中学校 学力向上プラン1 (8月)

	学力状況について	学習状況について
児童生徒の課題	<p>1 各種学力調査の分析結果から明らかになった課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正答率や平均点は全て全国平均を上回っている。 ・文章の表現の特徴をとらえる力や、図表の読み取り、推論する力などに課題が見られた。 ・記述式問題の正答率が相対的に低い。 <p>2 授業改善の検証指標に照らし合わせて評価した状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題を自ら引き受けて解決に向かう力が弱い。 ・実質的な対話的な学習にはなっていない。 	<p>1 各種学力調査の分析結果から明らかになった課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習の時間や家族等から認められていると感じている生徒は多い。自己肯定感や自己存在感は高いが、「対人ストレス」を感じている生徒が多い。 <p>2 授業改善の検証指標に照らし合わせて評価した状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ありのままの自分を表現することができにくいことから学習課題を見つけたり、引き受けたりの主體的な学習や協働的な対話的が行いにくい。
指導の状況	<p>1 組織的な授業改善の取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「上中スタンダード」の学習規律、学習環境については実践できている。 ・各教科で「主体的な学び」を促す指導方法の工夫改善について実践中である。 ・「構造的な板書」「ねらいの明確化・視覚化」「言語活動の充実」を進めている。 <p>2 その他の学力向上に向けた指導の取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎基本の定着を図るための「朝学習の充実」「家庭学習習慣の定着」はよくできている。 ・1年生に小学校時代の学習習慣や学習内容の難易度の違いから悩んでいる生徒が出ている。教育相談や個別指導を実施している。 	



学力に関する達成指標	<ul style="list-style-type: none"> ・各種学力調査で大分県の最上位を目指す。(すべての教科で平均点が全国平均以上・県平均以上) ・定期テストで定着度、平均70点以上。正答率4割以下を5%以下にする。(問題の難易度にも依るが達成できず) ・生徒アンケート「学習に意欲的に取り組んだ」90%以上(88%ほど) ・記述式問題の無回答率を減少させる。(15%ほど→10%ほど) ・宿題の提出率(85%ほど→90%ほど)
------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



今後の具体的な取組	【授業改善】		【家庭・地域との協働】
	<p>(授業改善テーマ) 能動的に学習に取り組む生徒の育成 (授業改善の重点) 「課題」を引き受け、対話をしながら、能動的に取り組む、課題を解決していく</p>		<p>(達成指標) 設定なし</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級懇談会の参加率 80%以上に
	<p>(取組内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①「上中スタンダード」の一層の推進 ②「書く活動の推進」(活用力・説明力・表現力の向上) ③基礎基本の定着(朝学習の充実と課題提出の徹底+個別指導の充実) 	<p>(取組内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①教師の授業力、教師力の向上を図る。 (授業実践研究、理論研究) ②研修会と教科部会の充実 	<p>(家庭・地域の取組内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①「家庭学習の手引き」の配布 ②学校通信や「学びのススメ」等での啓発
	<p>(取組指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①学習規律を守った 100% ②板書とノート一体化、学びの振り返りができるノートにする(ノート点検・指導) ③朝学習の確認テスト: 全員合格 課題提出: 95%以上 (個別の弾力的対応が必要な生徒も) 	<p>(取組指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①全体研究授業(道徳、教科) 2本 全教科互見授業設定 全員 理論研修及び研究 ②教科部会月1回(内容は研究部、教務より提案) 	<p>(家庭・地域の取組指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①入学説明会及び入学後のガイダンスで説明(100%) ②通信年間20号(行事の紹介とともに学校教育方針中心)
<p>【その他の学力向上の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小中一貫教育を通じての学び方改善 ①「家庭学習の手引き」の確認 ②相互交流授業やテスト問題の交流(何が求められているかがわかる) ③学校生活・基本的生活の指導共通化 ○開発的、積極的な生徒指導を行い、不登校・不登校傾向の予防。個別指導にて早期解決を図る。 			